

令和4年度湖西市職員KAIZENグランプリ

○市長賞

受賞	改善名	改善前	改善後	節約経費・時間
市民課	マイナンバーカード交付時の顔写真証明書の作成	施設に入所していない市民は、顔写真付きの本人確認書類を持っていないと、マイナンバーカードの代理人受け取りができない状況であった。	湖西市独自の「顔写真証明書」を作成。これにより、国が認める事情があり市役所に来ることが出来ないすべての市民が、顔写真付き本人確認書類を持っていなくても代理人受け取りが出来るようになった。	

○副市長賞

受賞	改善名	改善前	改善後	節約経費・時間
高齢者福祉課	介護給付費通知書の改善	システムでは1月単位での出力が基本。介護給付費適正化の効果は薄くなるが、直近1か月の利用分のみ記載し通知していた。介護サービス利用者約2,200人に対し12か月分を出力した場合、36,000枚(1人あたり平均18枚)となり、現実的ではなかった。	システムとは別に印刷プログラムを作成することで、1枚に12か月分の利用情報を記載するよう変更した。期間を12か月としたことで、介護サービス利用状況の把握が容易となり、介護給付費の適正化を図ることが可能となった。また、通知書が1枚となったことで、封入誤りの原因を排除することができ、封入作業をワーク支援ステーションへ依頼することが可能となり、職員の業務量の削減につながった。	1千円 28時間

○部長賞

受賞	改善名	改善前	改善後	節約経費・時間
DX推進課	ウェブGIS導入による対面対応時間の改善	市で管理する道路などの地図情報は、基幹系GISまたは紙で管理。地図情報を知りたい人は、調査のために必ず来庁する必要があった。また、複数の課が所有する地図情報が必要な場合は、複数の課を回り地図を閲覧する必要があった。	紙で管理していた「建築基準法の道路」等を、基幹系GISシステム上に作成。インターネット上に「建築基準法の道路」を表示するシステムを構築した。「建築基準法の道路」データを作成し、インターネット上に公開した。	12時間

○職員賞

受賞	改善名	改善前	改善後	節約経費・時間
税務課	固定資産税課税資料整備の見直し	土地台帳・家屋台帳は固定資産税課税業務の補助資料として整備してきた。数年前から所有者情報等はシステムで管理できるようになっていた。また、台帳は庁内他業務のための閲覧および事業者・市民へ窓口閲覧を行っていた。	台帳整備は課税業務上では必要なくなったものであるため整備を中止し、窓口閲覧は最新の情報ではなくなることで所有者情報保護等の観点から終了した。 整備に要していた時間 1件5分×6,000件/年=500時間 閲覧受付に要していた時間 1件5分×800件/年=66時間	948千円 566時間